

## 【OIE 情報】 韓国における口蹄疫（0 型）の発生について

韓国における口蹄疫（0 型）の発生について、2016 年 2 月 21 日付けで OIE へ報告（続報 2）がありましたのでお知らせいたします。

出典：OIEウェブサイト（2016年2月21日付け）

[http://www.oie.int/wahis\\_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=19775](http://www.oie.int/wahis_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=19775)

（OIE情報は更新・差替えが行われる場合がありますので、出典元も併せて御確認下さい。）

### 【概要】

- ・発生数：2 件（続報 2）
- ・発生日：2016 年 2 月 17 日
- ・OIE への報告日：2016 年 2 月 21 日
- ・血清型：0 型

### 【発生状況】

- ・発生場所：忠清南道 天安（チョナン）市 東南区 豊歳面の農場

【動物種】	【飼育頭数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
豚	2,188	5	0	2,188	0

- ・発生場所：忠清南道 公州（コンジュ）市 灘川面の農場

【動物種】	【飼育頭数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
豚	956	20	0	956	0

### 【疫学情報】

- ・感染源：不明又は調査中
- ・現在、疫学調査を実施中
- ・感染動物を淘汰

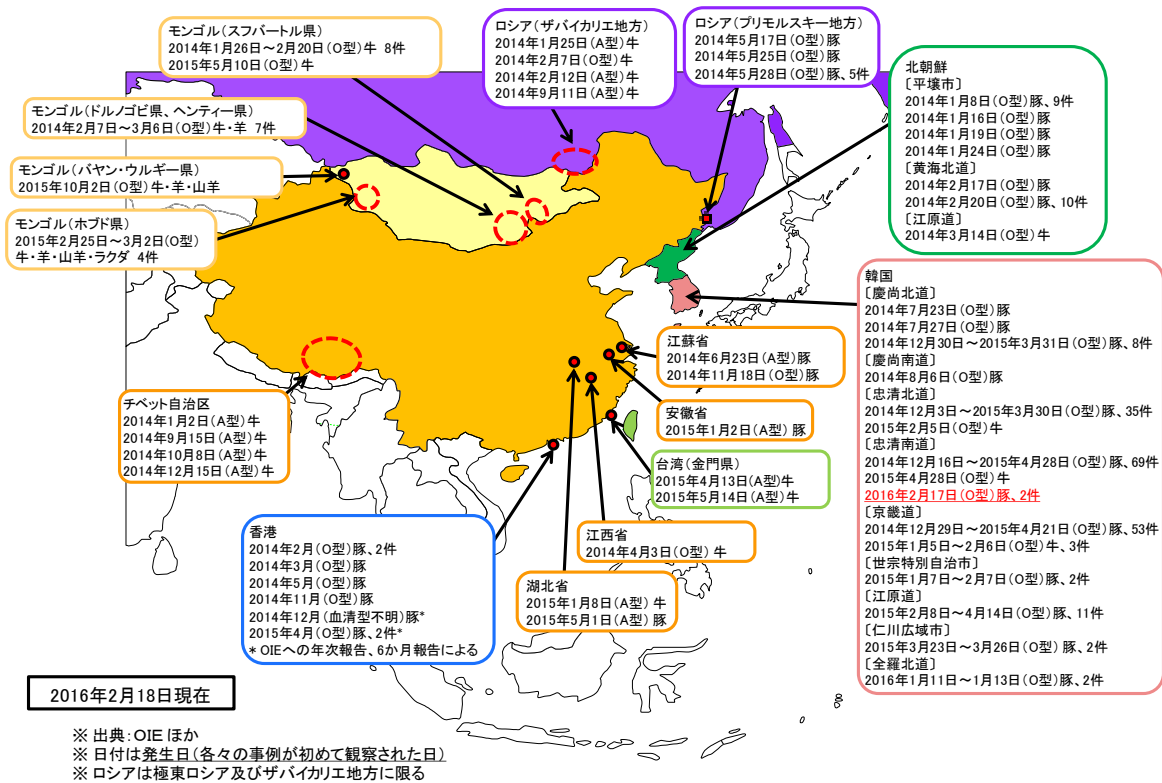
### 【対応】

- ・野生宿主のコントロール
- ・隔離
- ・国内における移動制限
- ・スクリーニング
- ・ゾーニング
- ・発生に応じたワクチン接種を実施
- ・施設等の消毒実施
- ・淘汰
- ・患畜を治療対象としない

### 【診断】

- ・診断施設：農林畜産検疫本部（国立研究所）
- ・診断法：抗原検出ELISA、RT-PCR：陽性（2016年2月18日）

中国、香港、台湾、韓国、北朝鮮、モンゴル、ロシアにおける口蹄疫の発生状況（2014年1月以降の発生）



※発生状況には韓国農林畜産食品部の公表した情報も含まれております。

※2016年1月以降の韓国における口蹄疫の発生情報等は、当省ウェブサイトで公表しています。

・韓国における口蹄疫の発生状況(2016年1月11日～、0型)

([http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku\\_yobo/k\\_fmd/pdf/korea\\_fmd\\_o\\_2016.pdf](http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku_yobo/k_fmd/pdf/korea_fmd_o_2016.pdf))

(参考1) 韓国での0型口蹄疫ワクチン接種に関する情報

豚、牛、山羊及び鹿がA、0及びAsia-1型の混合ワクチン接種対象となっている。

(参考2) 中国での0型口蹄疫ワクチン接種に関する情報

全ての豚、牛、羊、ラクダ及び鹿が0型口蹄疫ワクチンの強制接種対象となっている。

(参考3) ロシア(極東ロシア)での0型口蹄疫に関する情報

国境地帯に口蹄疫の緩衝地域を設定し、牛及び小型反芻動物に対して、A、0及びAsia-1型の混合ワクチンを接種している。

(参考4) 香港での0型口蹄疫ワクチン接種に関する情報

全ての種豚及び12週齢以上の豚に対し、4か月ごとに0型口蹄疫ワクチン接種を実施。